

《2009年度 ICD日本部会・年末集会特別講演》

## おしゃれの品格

オートクチュールデザイナー、フラワーデザイナー

山本 基代志



### ●抄 録●

コスタブランカのデザイナーであるKiyoshi Yamamotoはシルクロードから…  
BE CLASSICAL ELLEGANCEを追い求め四季のうつろいをしっかりと見極め、格調高くそして、ただよう気品、永く着続けたい最高の素材と縫製への自信、流行に左右されないシンプルなデザインを追求。これがKiyoshi Yamamotoの服飾の美。

キーワード：エレガント、オートクチュール、フォーマル

フラワーデザイナーと服飾デザイナー、この2つの道を選んで40年が過ぎました。どちらも華やかな職業のようですが実はとても地道な職人の業が要求されます。そこで永年培ってきた、ファッションの基本とマナー、プロトコール（国際礼儀の一部）マナーのお話を致します。

私は常にエレガントを基本とした洋服作りを心掛けてきました。それはカジュアルやフォーマルにでも。

オートクチュールとは、簡単に言えば最高の生地でその人の為にだけデザインし、高度な技術で仕立上げる。まさに、贅沢な洋服なのです。エレガントな女性は元々持って生まれたもの、その人の家庭で培うもの、と思われませんが決してそうとは言えません。たとえ、そのような環境で育っていなくても「エレガント」は手に入れられるのです。それにはまず、エレガンスを学べる人とお付き合いをして、そのような場所へ積極的に出かける事が早道でしょう。その場の雰囲気や他の人達の服装・身のこなし・会話・食事のしぐさなど…実際そこで見て、感じ取ることです。本や映画だけでは、身に付きません。体験する事が大切です。

エレガントな女性になる為には、

- ①いつも見られている意識を持つ
- ②その場所や人に対して尊重する気持を持つ

たとえば、一流のホテルでのパーティーやクラシックコンサート、演劇など多くのアーティスト・スタッフが関って最高の演出で出迎えるのに対し、いくら高価だったとは言え、ジーンズやTシャツで行けるでしょうか？「衣は心と礼を表す」で服装はとても大事なのです。

次に、何才に成っても好奇心を失わないこと。感動したら表情を表面に出す。無表情では可愛くない。男女共通のポイントです。ウィットにとんだジョークや笑顔が何より勝るチャームポイントとなります。年齢を重ねるにつれ、どんどん魅力的に磨かれていく人がいますが、エレガンスを内に蓄えて内面を豊かにしている人と言えましょう。

また、女性のイメージ作りに欠かせないのがファッションです。いくら今年流行のトレンドだからといって、自分に似合わないデザインや色、年齢に合っていない格好は、無理している感じを与えきれいではない。少しでも若く見られたいと思うことや、流行に敏感でありたいと思う欲望は分かりますが、どこをたし算してゆくか、ひき算するかは、その人のバランス感覚でオシャレセンスが出ます。「アラッ素敵!!」と思わず振り返りたくなる人になってほしいのです。

引き続き、フォーマルのお話しです。

結婚式やパーティなどでおしゃれな男性・女性も多く見かけるようになりましたが、洋装のフォーマルの着こなしは、まだまだ苦手の様子です。

自信を持って出かけて頂くためには、約束事をほんの少し知っておくと良いでしょう。

まず、基本はT.P.O…男性はなるべく肌を見せない。シャツの胸元に飾りボタンが使われていますが、これは普通の表穴は下着的なイメージがあるからです。逆に、女性は肌を見せる程、正式に近いものとなります。とは言っても、余り見せすぎは下品になるので、そこは程良く…

夜会服は、ローブデコルテと呼ばれ、現在のイブニングドレスの原型です。

次にドレッシューとされるディナードレス。フルレンジでスリーブレス、小さな袖が付くものもあります。裾が大きく広がり、後ろは長くトレーンしている方がよりフォーマルとされます。

ローブデコルテ、ディナードレス、イブニングドレス、アフタヌーンドレスなどを身につける時の小物やアクセサリ、ヘアースタイルは、どうすれば良いでしょう？

まずは

- ・バック—正式は絹布地。他にビーズ、スパンコール、刺繍織物…。
- ・帽子—ドレスの場合エレガントなもの以外のかぶらない。ドレスに合った飾りで!!
- ・ヘアースタイル—ポンパドールを基本としているので、トップにボリュームをつけ、トレンドのデザインを加えるのも素敵です。
- ・シューズ—ドレスと同じ布地か、色を合わせたもの。黒サテン絹布が最適です。エナメルもおすすめ。
- ・アクセサリ—特別高価でなくて良いので、宝石や真珠などの装飾品で華やかさを加えます。
- ・メイクアップ—いつものメイクより思い切って、上品な濃い目に華やかに…
- ・ネイル—指先のおしゃれを楽しんで…
- ・小物—毛皮・大判ストール（アップリケやフレンジングで華麗さを加える）。レース・オーガンジー・シルクサテンなどのショールも大事な脇役となります。

このようにドレスの着こなしはヘアースタイルからシューズに至るまで、最低限の約束事があるのです。後はT.P.Oに応じてアレンジして遊び心を取り入れるなどしてオシャレを楽しめば良いのです。

男性のフォーマルには、燕尾（えんび）服、タキシード、モーニングコート。

- ・タキシードは黒の蝶タイ。サスペンダーでパンツを吊る。その上からカマーベルトをつける。プリーツのタックは上向きにする。シャツはウイングカラー。シューズはエナメルかオペラパンプス。
- ・燕尾服は白の蝶タイ。指揮者や演奏者、新郎、主催者で一般には着用しない。胸のチーフは白、3ピーク、2ピーク、一文字の形で入れる。
- ・モーニングコートは朝の散歩着でなぜか日本では結婚式やいろんなセレモニーで着られている。ウイングカラーに白黒のフォーマルネクタイ、胸のチーフは燕尾と同じ。モーニングなので午後からは着ないが…
- ・ダークスーツ

黒紺チャコルグレーの3色でインフォーマルに使われるが、式典の時ネクタイは出来るだけ織物をお勧めします。カウスボタンは必要。昼はゴールド、夜はシルバーかプラチナ。シューズはひも靴で黒、くつ下も黒が良い。夜はシルバーかプラチナ。

招待状にドレスコードがハッキリ指定されている時はこれに従うことが大事です。たとえばブラックタイと書いている場合、女性はイブニングドレスを着用して出席下さいと言う意味。カジュアルを指定の時は、男性はジャケットを着用する。フォーマルウェアには沢山の決まり事があります。それは、晴れの席でも多様な目的がありその人の立場や内容もあり迷うため、主催者が服装の指定を明記するのが親切でしょう。

略式より正式すぎる方が相手に失礼がないのです。このようなことを知っていれば、恥をかかず胸をはって行動出来ます。

にこやかに歯を見せて笑うこと…このスマイルこそが一番輝くダンディでありエレガントな人なのです！

## Race of Fashionable

Haute Couture Desiner, Flowerdesiner

*Kiyoshi YAMAMOTO*

Costa Blanca designer Kiyoshi Yamamoto has walked the Silk Road in search of CLASSICAL ELLEGANCE. Having deeply penetrated the passing solace of the changing seasons, he has returned with a simple design free fome the influences of fashion trends, and smartly stitched materials of such sonorous and lofty grace that it is almost tempting to wear them forever. This is the beauty of Kiyoshi Yamamoto' s style.

**Key words :** Elegant, Haute Couture, Formal